

平成30年度 日向市立日知屋小学校 自己評価及び学校関係者評価 〈徳育〉

4段階評価 4・・・大変よい 3・・・概ねよい 2・・・もう少し改善を要する 1・・・大いに改善を要する

区分	重点目標	具体的達成目標	具体的実践方策	自己評価		関係者 評価	考察 (学校)	学校・家庭・地域の取組を踏まえた協議内容
				項目別	総合			
徳 育	相手意識をもって挨拶(会釈)ができ、相手を思いやり助け合い、自分の役割を果たせる児童を育成する。	① 相手の目を見て、元気な声で挨拶ができる。	○ 委員会活動によるあいさつ運動の推進及び賞賛	3	3	3	<p>○ 挨拶などは大切な社会性であり相手との信頼関係の第一歩である。お世話になっている人や知っている人に対して挨拶や会釈を自然にできるようになってほしい。家庭や学校で、大人が手本となって望ましい姿を見せていくことは大切なことだと考える。家庭で挨拶をしっかりとできない場合に、やり直しをさせていただいている家庭があるという感想はありがたい。学校・家庭・地域が同じ気持ちで教育に当たることはとても大切なことだと言える。</p> <p>○ 相手の気持ちを考え、思いやりのある行動をすることは人としてとても大切なことだと言える。思いやりのある行動を、親しい友達に対してだけでなく、誰に対しても行える人になってくれることを願っている。差別やいじめは決して許されることではない。逆の立場だったらということを想像することによって、人として許されない行動は決してしない人に育ってほしい。いろいろな場面において育成し続けなければならないと考える。</p> <p>○ 自分の仕事を責任をもってやり遂げたり主体的に行動することができる児童がずいぶん増えた。責任感をもって自分でしっかり考えて行動するということによって児童は伸びる。家庭や学校において、さらに望ましい経験を積ませたいものである。</p>	<p>○ 1年生以外も名札を付けて登下校することについて、近隣の学校からの情報を得て検討を進めてほしい。一人一人の名前が分からないので、声がかかりにくい。ぜひ、検討してほしい。</p> <p>○ 徳育の達成については分かりにくいと思う。何か可視化できる方法があるとよい。</p> <p>○ 各学年それぞれに成長があった。たとえば、5年生は一人が一つの当番活動に責任をもつことによって成長があった。</p> <p>○ 委員会活動でも責任をもった行動をさせている。</p> <p>○ 3年生は、すれ違ったときなどに必ず会釈することが出来るようになった。家庭や地域ではどうだっただろうか。</p> <p>○ 学校と家庭がそれぞれの立場でしっかり育てていかなければならない。</p> <p>○ 家庭からの意見として、家庭における徳育の項目の評価が低いことに気付いたので、なかなか教育しにくい内容ではあるが日々声かけをしていきたいという意見が寄せられていた。</p>
		② 時と場に合った会釈ができる。	○ 地域での積極的な挨拶の働きかけ	3				
		③ 相手の立場に立って、やさしい声かけをしたり、協力したりすることができる。	○ 学年の発達段階に応じた会釈の指導及び称賛 ○ 友達のいいところみつけの作成及び紹介、称賛	3				
		④ 自分の仕事に責任をもって取り組むことができる。	○ 学年の発達段階に応じた係り活動の指導、称賛 ○ 委員会活動での主体性や責任感の育成及び賞賛	3				
		⑤ いろいろなことに主体的に取り組むことができる。	○ 家庭でのしつけや見届け	3				